



▼本町産の野菜などが並んだやな場で、風情を楽しむ来場者たち



「マシユマロ」、本町産の野菜などが販売されました。参加者は、川が勢いよく流れてくる開放的な空間で、ヨガで身体を伸ばしたり、飲食をしたりしながら、やな場の風情をたっぷり味わいました。やな場の営業は6月1日（金）から始まっており、アユの香り高い味を今年も11月30日（金）まで楽しむことができます。

やな場の魅力を再発見

5月26日（土）「やな遊び2018夏」が開催

5月26日（土）甲佐町やな場で、「やな遊び2018夏」が開催されました。普段とは一風変わった楽しみ方で、やな場の魅力を再確認・発信し、本町をもっと好きになってもらおうと（一社）パレット（大滝祐輔代表）とやな場が主催し、町、甲佐町観光協会が後援。毎年6月から11月までアユ料理が楽しめる会場では、ヨガ体験やお茶のおもてなしが行われるとともに、町内の飲食店などが出店。町認定の特産品ブランド「こうさんもん」の「にらメンコ」や「マシユマロ」、本

地域活動の拠点が復興

被災した芝原公民館の建替えが完了

6月10日（日）芝原区（109世帯）の公民館で落成式が開催され、奥名克美町長や宮本青史区長、地元住民ら68人が参加しました。

築60年を超えていた旧公民館は熊本地震で建物が傾くなどの被害を受け、町の被災家屋調査では全壊と判定されました。新しい公民館は区民が検討を重ね、災害時の避難所としても使いやすいよう配慮されています。

熊本地震で被災した公民館の建替えは古閑区に続き2件目。また、3月には上早川一区にも新しい公民館が完成しています。



▲災害時の避難所としても使われる芝原区の新しい公民館



◀特産品などが並びにぎわった物産展

本町の物産と観光をPR

第11回甲佐町観光物産展を熊本市で開催

5月31日（木）熊本市中央区上通で、第11回甲佐町観光物産展が開催されました。本町の魅力ある物産や観光資源、郷土文化などを町外にPRすることを目的に、甲佐町商工会（中村幸男会長）が主催し、町、甲佐町観光協会、JAかみましが後援。11団体が、同市中央区びぶれす熊日会館前の「びぶれす広場」に出展しました。物産品販売コーナーでは、採れたての新鮮な野菜や生花、アユの塩焼きやうるかななどの加工食品、「こうさんもん」の認定商品などが所狭しと並び、多くの来場者が特産品などを手に取り、買い求めました。

し尿処理の災害支援協定を締結

町と熊本県環境事業団体連合会が調印式

5月24日（木）町役場で、町と熊本県環境事業団体連合会（篠崎武会長）との「災害時におけるし尿及び浄化槽汚泥の収集運搬等の支援に関する協定書」の調印式が行われました。

同協定の締結は、災害発生時にし尿などの収集運搬が円滑に行われるよう同会と県が締結した基本協定に基づくもの。町は災害時に県を通じて同会に支援の要請を行います。

奥名克美町長は「災害時の対応がより充実したものになります」とあいさつしました。



▲調印式に臨む奥名町長（中央）と連合会の篠崎会長（中左）ら



▲表彰を受ける(株)サクシスの櫻木さん（左）

ものづくり日本大賞で局長賞を受賞

櫻木弘さん（株式会社サクシス）

2月15日（木）福岡市で「第7回ものづくり日本大賞」九州地区表彰式が行われ、株式会社サクシスの櫻木弘さんが「九州経済産業局長賞」を受賞しました。

ものづくり日本大賞は日本の産業・文化の発展に貢献してきたものづくりを継承し発展していくため、第一線で活躍する人材を顕彰する制度。

櫻木さんは平成25年に同社を設立し、地震による天井落下事故への対策として軽量かつ振動吸収機能付き天井システムを開発。その技術が認められ、製品・技術開発部門において今回の受賞となりました。

ちぎりたての梅はいかが

宮内梅まつりが坂本梅林で開催



▲上揚の坂本梅林で、竹の棒で梅の枝をたたいて木の下に広げたブルーシートに実を落とし収穫する参加者

6月2日（土）上揚の坂本梅林および宮内集会所で宮内梅まつりが開催され、宮内地区の区長や子ども会、地域住民などに町外からの参加者を加えた約30人が参加しました。

梅の収穫が行われた坂本梅林は、昭和11年ごろに当時の宮内小学校校長・坂本壽雄氏の指導で農業科実習のために植樹されたもの。

参加者ははじめに、たわわに実った梅の実を手でちぎって収穫。子どもたちは保護者などに枝を手が届く高さまで下げてもらいながらひとつひとつ丁寧に摘み取りました。高い枝に実った梅は竹の棒で枝をたたいて実を落とし、木の下に広げたブルーシートから拾い集めました。集まった梅は近くの集会所で葉や枝を取り除き選別。重さを量りながら袋詰めして1キロ200円で販売しました。

今回が3回目の参加という熊本市東区から訪れた親子は「自分でちぎって収穫できるのが楽しい。家族みんな梅が好きなので、今日手に入った梅はジャムやジュースにして楽しめます」と笑顔で話しました。